

コンピュータ利用による原料炭操業管理^{*1}

川崎製鉄技報
17 (1985) 2, 148-153

笠岡 玄樹^{*2} 岡本 修^{*3} 滝沢 譲^{*4}

Computer Control System for Coal Yard Operation at Mizushima Works

—

—

要旨

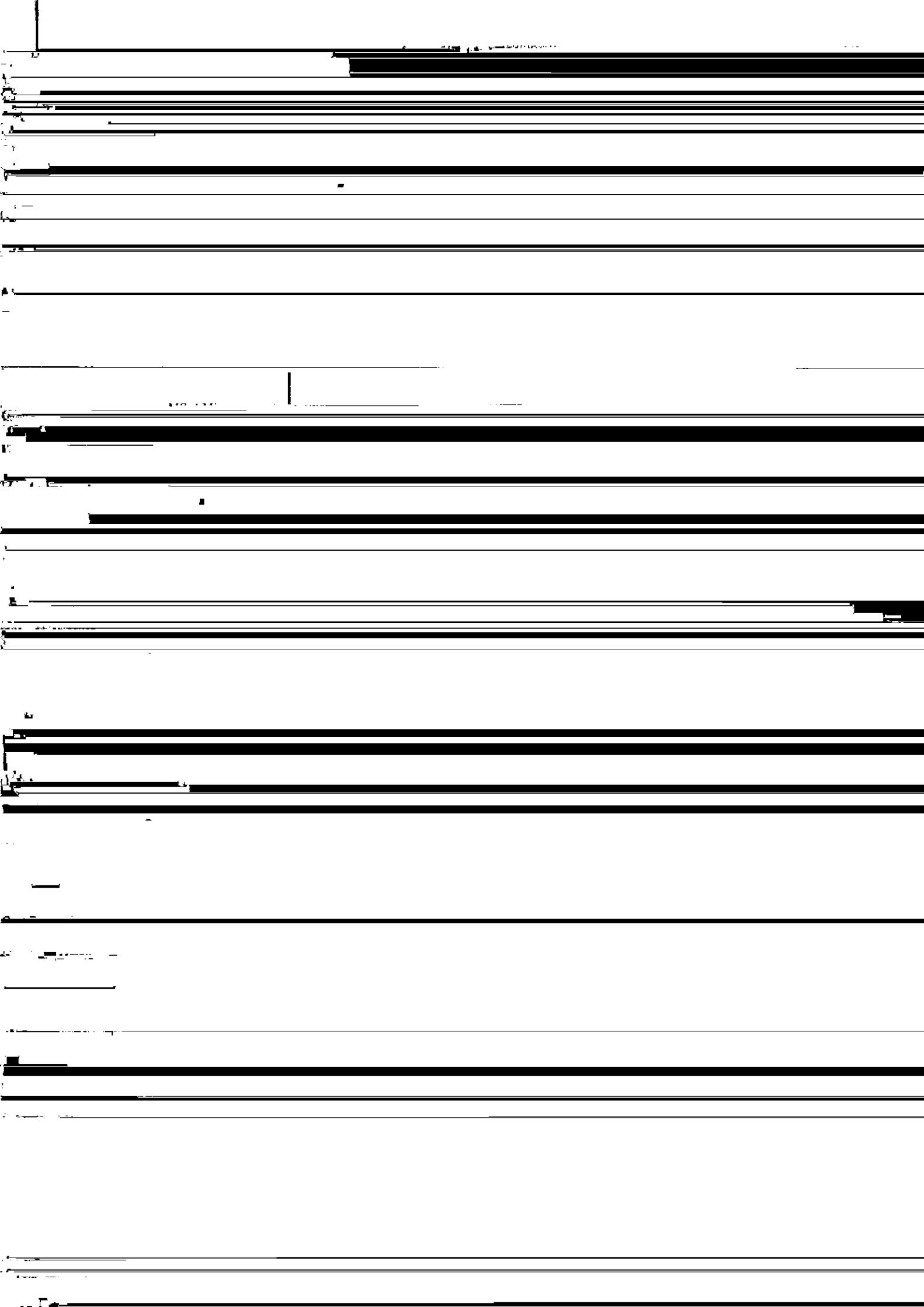
Synopsis:

水島製鉄所における原料炭操業の現状と、その問題点について述べる。

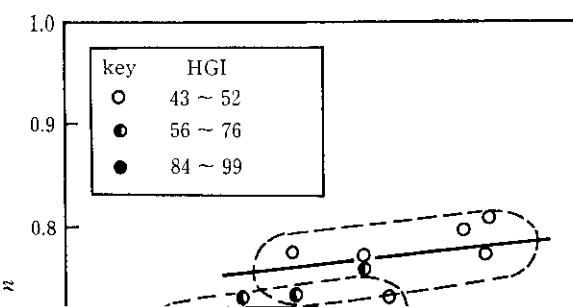
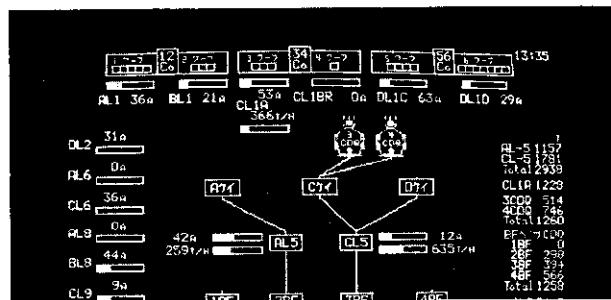
—

—

—



(3) お宝行】 紙用紙、CRT上と電子オーディオ用紙を複数枚



として、石炭水分値や設備との輸送能力を考慮して決定される。料出加算手数料 (Dkato E hoso)」は、上記の料金に加えて、

より、Qが内上し、重力販売料のうち、0.02137倍の料金

した。

一方、船積後の料金は、Fig. 4 に示すように、モノレア湖

より色別で表示され、10秒ごとにデータ更新が行われる。さらに、

機器運送料、料出手数料

1系

■ ハイカウリカウリカウリカウリ

2系 13:31

*** ハイカウリカウリカウリカウリ

9100 -> 16200 = 40 %